

平成30年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会 会議録

- 1 会議の名称 平成30年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会
- 2 開催日時 平成30年5月14日(月) 13:30~14:30
- 3 開催場所 嘉麻市立織田廣喜美術館市民アトリエ
- 4 公開非公開の別 公開
- 5 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
- 6 出席者

(1) 出席委員

緒方 泉(会長)、堀 洋子(副会長)、手島 静恵、寺崎 めい子、三木 一司

(2) 欠席委員 松岡 正剛、藤井 隆昭(研修会のため)

(3) 執行機関

嘉麻市教育委員会 教育委員長 木本 寛昭
嘉麻市教育委員会 生涯学習課課長 長岡 和広
課長補佐(館長) 上野 智裕
美術館係 主査 有江 俊哉
美術館係 学芸員 松田 佳奈
美術館係 地域活動指導員 藤嶋 芳絵

- 7 傍聴人数(会議を公開した場合) 0人

8 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 教育委員会点検評価委員会の選出について
- (3) 平成30年度事業計画について
- (4) 平成29年度入館者について

【提出資料】

- (1) 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について(依頼)
- (2) 平成30年度事業計画について
- (3) 平成29年度入館者数について

【配布資料】

- (1) 織田廣喜美術館 春からはじまるオダビの催し暦 平成30年度版

【議題及び審議の内容】

(1) 会長及び副会長の選出について

推薦で会長 緒方泉氏、副会長 堀 洋子氏に決定。

(2) 教育委員会点検評価委員会の選出について

推薦で手島静恵氏に決定。

(3) 平成30年度事業計画について

■文化芸術活動推進事業について

- ・前年度の課題で挙げられていた市内小中学校へのPRについて、嘉麻市内全学校の教職員に美術館の施設案内、活用例など記述した資料「こんにちは、オダビです」を配布。校長会で小中学校の校長に美術館の紹介、利用案内を行った。
 - ・市内小中学校、公民館、オレンジサロン、社会教育事業などに関連し、美術館の外に飛び出して推進事業に取り組む。
 - ・4月に桂川東小学校が遠足で利用した。(事務局)
- 《主な質疑及び意見》
- ・小中学校との連携がスムーズに進むような印象を受けた。

■収蔵作品等の保存及び管理について

- ・文化協会等利用団体の理解を得て、生花の持込みを今年度から全面的に禁止した。
- ・学芸員から提案があり、IPMの取り組みを開始。清掃委託業者にも告知し、虫を見つけたら報告してもらうこととしている。(事務局)

《主な質疑及び意見》

- ・資料の保存、コレクションの維持が最優先事項である。
- ・燻蒸作業については、美術館HPで作業中に絶対近寄らないように注意を促されているが、九州では人身事故などが起きている。危険な薬剤を使用するので、注意して行ってほしい。博物館業界では大規模な燻蒸作業は危険なので、なるべく行わないような動きになってきている。虫害のない作品も一緒に燻蒸するため、絵の具や木材、キャンバスの布地に薬剤の影響が残る。学芸員も作品に触れる機会が多く、作品に残留している薬品の影響がないとは言えない。収蔵庫の日々の清掃が重要である。
- ・IPMでは、清掃委託業者にも協力を頼むなど日常的な動きが必要である。日時、どこから虫がでてきたかが重要であるため、館内の平面図を付けた清掃日誌を作り、発見時に印をつけてもらうようにするなどの記録を行ってほしい。

■企画展事業について

《なばたとしたか絵本原画展について》

- ・なばたとしたか絵本原画展は、人気キャラクターの「カクレモモジリ」が発見されて10周年でもあり、11年ぶりに出版された新作の絵本の原画も展示される。関連事業として学校等に出向き、出前授業を行う。中学校から授業の依頼があり、進めているところである。
- ・広報については、チラシ、ポスターを印刷し、約800ヶ所に配布する。市内小中学校の全児童にチラシを配布、その他教育機関、図書館等の公共施設、博物館、美術館にポスター、チラシを配布する。
- ・開催期間中にサイン会や絵本の読み聞かせ等のイベントを行う。(事務局)

《主な質疑及び意見》

- ・なばたとしたか絵本原画展は、小学生のときに「こびとづかん」を読んでいた中学生がターゲットになる。自然観察、理科の授業等で関連のプログラムが組めるのでは。
- ・早めに広く周知してほしい。
- ・絵本と比較して原画の良さを伝えてほしい。原画は作家のタッチや心のこもっている部分がみえてくる。美術館の展示ならではあるので、そこを大事にしてもらいたい。

《第2回アートキッズ展について》

- ・第2回アートキッズ展は、去年初めて開催したが、その反省点を踏まえ、さらにステップアップした内容で行う。(事務局)

《主な質疑及び意見》

- ・アートキッズ展については、子どもの成長を促す過程を大事にしてほしい。今後も継続して続けてほしい。リピーターを上手く育て、美術館のサポート集団にってもらいたい。

■美術教育普及事業について

- ・ボランティアの増員を図るため、美術館のHP、新聞等にボランティア登録者募集の記事を掲載。福岡県立大学のボランティアセンターに登録を行った。
- ・昨年度の反省をふまえ、美術館職員等やボランティアが発達障がいを持った子どもたちに対し、理解と認識を深め、適切な対応が行えるよう研修会を開催した。
- ・事業を縮小し、今年度は小学生を対象としたアートキッズと成人を対象とした美術講座の2つの事業を行う。縮小した分、地域からの要望を受け、その都度出向いて普及事業を行う。(事務局)

《主な質疑及び意見》

- ・若いボランティアを取り入れるため、大学のセンターへ登録したことは素晴らしい。大学生は外に出て活動したいと思っているが、どこでどんなことをしているかわからない人達が多い。
- ・高校生ボランティア部やインターアクトという社会奉仕活動を行う部活に声をかけると良い。

(4) 平成29年度入館者について

- ・ 特別展の内容によって入館者数に変動がある。
- ・ 常設展示は12条該当者が増えてきている。
- ・ 展示室、アトリエ利用率が増えてきている。(事務局)

《主な質疑及び意見》

- ・ 市民の方々に広く使ってもらえる美術館になってきている。文化庁では、生活の質を向上させるために地域の博物館、美術館が何ができるのか大きな課題になっている。アクセス可能な寄り付きやすい美術館にしてほしい。
- ・ 数字が良くなったのは、美術館がアクセスしやすい場所として意識され始めたのでは。地域の住民が健康のために活用している。
- ・ 博物館健康ステーションという言葉をつかっているが、2025年には団塊世代が65歳以上になる。国も入院から在宅へ、地域に高齢者をもどす政策をとっている。高齢者の社会参加、生活支援が必要で、美術館は社会資源として一角を担う。美術館があるから健康づくりを兼ねて美術活動される方が多くなってきているのは嘉麻市の特性であるので、大事にしてみたい。
- ・ 平成24年度はなぜ、こんなに特別企画展の入館者が多いのか。
→ 大河原邦男展を開催した。大人気のアニメの原画展で、九州初公開ということもあり、多くの人々が家族連れで来た。(事務局)
- ・ 目玉というか人の興味を引くような展示をすれば、人は来る。企画が大事である。常設展は入館者が少ないので、もったいない。展示替えを行ったり、飽きない工夫をしてもらいたい。
- ・ 高校生、大学生が少ないが、H29年度は若干多い。幼児以下の人数の集計はないのか。
→ 12条の無料入館者の集計の中に入っている。(事務局)

その他

- ・ 堀副会長が携わる「わいわいキッズいづか」の今年度の事業の案内

閉会

この会議録は、緒方会長に確認していただきました。

平成30年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会

日 時：平成30年5月14日（月）13：30～

場 所：織田廣喜美術館 市民アトリエ

【委 員】

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
委員	松尾 正剛		委員	藤井 隆昭		委員	手島 静恵	
委員	寺崎 めい子		委員	堀 洋子		委員	緒方 泉	
委員	三木 一司							

【執行機関】

嘉麻市教育委員会 教育長 木本 寛昭

生涯学習課 課長 長岡 和広

課長補佐（館長）上野 智裕、

美術館係 有江 俊哉、松田 佳奈（学芸員）、藤嶋 芳絵（地域活動指導員）

1. 委嘱書交付

2. 教育長あいさつ

3. 自己紹介

4. 議 題

(1) 会長及び副会長の選出について

会長_____氏 副会長_____氏

(2) 教育委員会点検評価委員の選出について

点検評価委員_____氏

(3) 平成30年度事業計画について

(4) 平成29年度入館者数について

5. その他

平成30年度 第1回 織田廣喜美術館運営協議会

《 資 料 》

1. 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について（依頼）… 1～2
2. 平成30年度事業計画について …… 3～4
3. 平成29年度入館者数について …… 5～6

【配布資料】

- 織田廣喜美術館 春からはじまるオダビの催し暦 平成30年度版

○ 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦依頼文書(写)

30 嘉教第173号

平成30年4月20日

嘉麻市立織田廣喜美術館
運営協議会会長 様

嘉麻市教育委員会
教育長 木本 寛昭



嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について (依頼)

春暖の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴職におかれましては、平素より嘉麻市の教育行政に関し、格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、嘉麻市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、嘉麻市教育委員会の事務の管理及び執行の状況等について、平成20年度から毎年点検・評価を行っております。

この点検・評価に際しては、教育委員や現職教員・事務局職員等ではない人で、教育に関し公正な意見を述べる事が期待できる人の知見の活用が義務付けられており、貴職からご意見を賜りたいと考えております。

つきましては、嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱（平成21年嘉麻市教育委員会要綱第6号）第4条に規定する評価委員を、貴職から1人ご推薦いただきますようお願いいたします。

なお、推薦書につきましては、6月20日（水）までにご提出いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

嘉麻市教育委員会 学校教育課
担当：赤坂（内線 4042）
電話：0948-57-3198（直通）

○ 嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦回答書(写)

別紙「推薦書」

平成 年 月 日

嘉麻市教育委員会
教育長 木本 寛昭 様

団体名

代表者名

㊟

嘉麻市教育委員会点検評価委員の推薦について

標記について、下記のとおり推薦します。

記

ふりがな 氏 名	
住 所	
電話番号 (自宅)	
電話番号 (携帯)	

※住所及び電話番号については、事務連絡として利用するもので、個人情報として適切に取り扱います。

※平成30年度の点検評価委員会については、次の3回の開催を予定しています。

- ・第1回委員会 … 平成30年7月18日(水) 13:30~16:00
- ・第2回委員会 … 平成30年7月25日(水) 13:30~16:00
- ・第3回委員会 … 平成30年8月 1日(水) 13:30~16:00
- ・予備日 …………… 平成30年8月 8日(水) 13:30~16:00

平成30年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表

fv f	アクション プラン主要 施策	アクション プラン施策 内容	アクション プラン事業 名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
1	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	・市民が美術館を身近なものと感じ、美術館で文化芸術を鑑賞し、これに参加するとともに、主体的、自主的な創作、展示活動を支援する。 ・未就学児や児童、生徒に対する文化芸術に関する教育の重要性を踏まえ、学校等、文化芸術活動を行う団体や地域における活動の相互連携、支援を図る。	・市内小中学校の利用が少ないので、改めてPRが必要である。	4月～3月	・郷土にゆかりのある作家の作品や資料収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の芸術に関する創造的な活動の推進。 ・市文化協会等の関係団体等と連携し、美術館貸出用展示室での展示活動への協力や支援を行うとともに、市民アトリエでの主体的、自主的な創作活動の支援。 ・各地区公民館や学校等と連携し子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力等を学ぶ機会の充実を図るため、芸術鑑賞の支援や出張美術館(出前学習)を行う。	・4月当初の校長会で改めて関係資料を配布し織田廣喜美術館の取組、活用について説明し理解を得るとともに、学芸員、地域活動指導員が自己紹介を行いPRする。 ・校長会で配布する資料を小中学校の全教職員に事前に配布を依頼する。 ・小中学校に出向き事業への取組等について説明、促す。	適宜	—	・市文化協会など ・第1回嘉麻市文化芸術祭 ・第13回嘉麻市文化祭inうすい ・第21回琴平美術展覧会 ・市内学校等 ・第14回筑豊地区中学校総合文化祭 美術・文化作品展 ・福岡県小学生児童画展第13回嘉麻市展 ・各地区公民館 ・ときめき学習(嘉穂・碓井地区) ・オレンジサロン ・社会教育事業 ・ゆめ祭、子どもフェスタ、図書館連携 ・幼稚園、保育園、保育所(予定)
2	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事務	・快適な環境の中で安心して、芸術鑑賞や創作、展示などの文化芸術活動が行われ、また憩いの場となるよう施設等の維持管理及び運営を行うとともに、美術館並びに実施事業の周知を図る。	・築20年経過しているため、経年劣化による建物及び設備等の修理等が予想される。 ・美術館及び実施事業等について更なる周知に努める必要がある。	4月～3月	・美術館の維持管理に努めるとともに、快適に利用できる環境の整備及びの充実。 ・ホームページやリーフレット等を活用して、情報発信。 ・近隣美術館と情報交換及び連携。 ・嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会の開催。	・快適な環境を維持するため施設及び設備の修理等に努める。(アトリエブラインド修理や閲覧室カーペット張替) ・美術館リーフレット、展覧会案内や市ホームページ、美術館ホームページ、ソーシャルネットワークサービス等を活用して、美術館並びに実施事業の周知を図る。 ・ホームページに利用案内ページの追加作成。	—	報酬 : 138千円 臨時賃金 : 7,277千円 費用弁償 : 60千円 普通旅費 : 8千円 消耗品費 : 659千円 燃料費 : 3,478千円 印刷製本費 : 281千円 光熱水費 : 13,908千円 修繕料 : 408千円 通信運搬費 : 268千円 手数料 : 170千円 委託料 : 4,614千円 使用料賃借料 : 475千円 工事請負費 : 933千円 備品購入費 : 87千円 負担金 : 15千円	・田川市美術館 ・直方谷尾美術館 ・県立美術館
3	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	碓井琴平公園管理事業	・憩いの場として快適かつ安心して利活用できるよう、環境美化と維持管理に努める。	・ゴミの放置など公園利用者のマナーについて注意喚起する必要がある。	4月～3月	・美術館等施設敷地内及び碓井琴平公園内の清掃、除草、草刈及び芝生や樹木等の維持管理。 ・公園内に設置されているモニュメントの安全点検。	・継続して敷地内及び公園の維持管理を行う。 ・環境課と連携して注意喚起を行う。	適宜	燃料費 : 7千円 光熱水費 : 28千円 修繕料 : 50千円 委託料 : 6,074千円 重機借上料 : 36千円	・市環境衛生係
4	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	・適切な環境の中で、収蔵作品及び展示作品の保存及び管理を行う。	・空調設備は20年が経過しており、継続的なメンテナンスが必要である。	4月～3月	・空調設備の保守点検並びに収蔵庫及び展示室の温湿度管理を行い、収蔵作品等が適切に保存、展示できる環境の維持。 ・収蔵作品を保護するため、収蔵庫内の燻蒸の計画的実施。	・収蔵作品等に影響が生じることがないように、空調設備保守点検委託業者と協議を行い、経年劣化に伴う部品の交換修繕及び設備修繕等を継続実施する。	—	消耗品費 : 66千円 修繕料 : 3,251千円 委託料 : 2,412千円	
5	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2018 春のコレクション展2019	・常設展とは別に、館蔵品を用いた特別展示を行うことで、さまざまなテーマにより多角的に織田廣喜の魅力を紹介する。	・準備不足から広報の内容が定まらず、周知期間が不足した。 ・収蔵作品のデータ整理が進んでおらず、情報が間違っていることが多々あり、データの確認作業が必要である。	4/1 (3/1~4/1) 3/2 ~ 3/31 (3/2~4/14)	・織田廣喜作品とともに写真家林忠彦の生誕100年を記念し収蔵写真の展示。 ・織田廣喜美術館所蔵作品を活用した展示。	・春のコレクション展の実施計画を立て、細かなスケジュールを作る。 ・周知を図るため、事前のPR活動を行う。 ・データ整理と確認作業に努める。	1日 (40日) 26日 (38日)	—	
6	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第13回嘉麻山の画家たち展	・飯塚市、嘉麻市、桂川町(旧嘉麻桂地域)に在住し、現役で活躍する作家を紹介することで、地域美術の今を映し出すとともに、今後の地域文化を推進する。	・継続的な作家の調査活動が必要である。 ・運営協議会において、出品依頼作家の選考について、透明性を持たせるようにとの意見をいただいているため、作家選考においては有識者の意見聴取及び選定委員会の開催等において透明性を保持することが必要である。	隔年 7/7 ~ 8/19	・平成29年度に外部の意見を基に選考した下記の基準に該当する25名の画家の作品展示。 ①嘉麻桂地域にて作品制作や展示、活動等をおこない、現在の同地区の芸術に影響を与えている画家 ②原則3年以内に制作された作品(平面作品の場合は50号~100号の作品)2点の出品が可能なる	・飯塚市、嘉麻市、桂川町(旧嘉麻山地域)の作家について広く情報収集を行い、移り行く作家の調査を継続して行う。 ・出品作家選定のため有識者からの意見や助言を伺い、候補作家を選ぶ。 ・出品作家及び選定方法など今後見直しが必要である。	38日	臨時賃金 : 117千円 講師謝礼 : 19千円 消耗品費 : 95千円 印刷製本費 : 153千円 通信運搬費 : 76千円 委託料 : 656千円	・谷尾、田川市美術館 ・出品作家選定委員会

平成30年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表

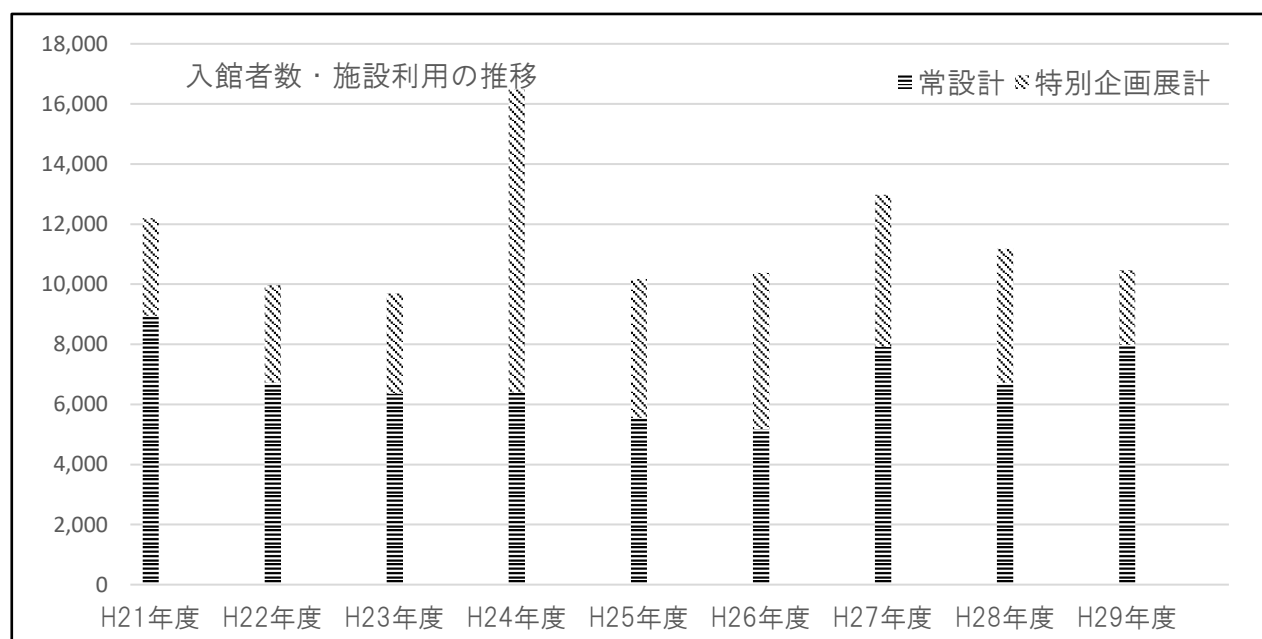
fvf	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
7	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第74回県展筑豊展	・県展筑豊展を開催することで市民に美術鑑賞の機会を提供すると同時に、更なる創作意欲を高め、美術活動の充実を目指す。	・ガラスケースが光って見えにくい。 ・更なる周知を図る必要がある。 ・作品の損傷(額縁等)が見られた。	I期：10/30～11/4 洋画 II期：11/6～11/11 日本画、写真、デザイン III期：11/13～11/18 書	・日本画、洋画、書、写真、デザインの5部門の中から、公募の入賞、入選作品と筑豊地区の県美術協会会員の作品を3期に分けて展示。 ・各会期最終日に県美術協会会員による合評会を行い、各部門の作品解説を行う。	・展示や照明について工夫する。 ・各部門出品者等とも協力し更なる周知に努める。 ・学習の機会として嘉麻市文化協会を通じて会員などへ周知を図る。 ・作品搬入、搬出時に状態確認に努める。	I期：6日 II期：6日 III期：6日	臨時賃金：83千円 講師謝礼：57千円 謝 礼：57千円 報 償 費：10千円 普通旅費：3千円 消耗品費：100千円 印刷製本費：153千円 通信運搬費：76千円 委 託 料：640千円	・合評会 ・県立美術館 ・福岡県美術展覧会筑豊巡回展実行委員会
8	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	なばたとしたか絵本原画展	・絵本作家なばたとしたかの絵本原画展を開催することで、原画の魅力を通して、豊かな感性を育み、文化の向上を図る。	—	9/1～10/8	・「こびとずかん」や「こびと大百科」などのこびとシリーズを手掛ける絵本作家なばたとしたかの絵本原画、資料など約150点の展示予定。 ・関連事業を実施。 ・図書館係と連携し周知を図る。	—	33日	臨時賃金：104千円 消耗品費：95千円 印刷製本費：153千円 通信運搬費：76千円 委 託 料：3,359千円	・碓井図書館 ・観光PR係
9	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第2回アートキッズ展	・アートキッズの子どもたちが美術館のコレクションを活用し展覧会を企画し、子どもたちの豊かな感性や視点、発想で作り上げ、収蔵作品の新たな魅力を引き出す。	・手書きのキャプション等が見にくい。 ・ギャラリートークの際の子どもたちの態度が良くなかったとの意見があり、指導や進め方の見直しが必要。	12/14～1/27	・児童スタッフ「アートキッズ」を公募し、児童とともに研修、会議を重ね、子どもたちが収蔵品から作品を選定。展示、キャプション作成と作業の流れを体験しながら、子どもたちがプロデュースした企画展。 ・期間中にワークショップやギャラリートークを開催。	・キャプション等をわかりやすく工夫する。 ・参加児童に相手のことを考え、文字を綺麗に書くことや、取り組む姿勢、態度等について話し、理解に努める。	32日	臨時賃金：61千円 消耗品費：100千円 印刷製本費：153千円 通信運搬費：76千円	・美術館ボランティア事業 ・アートキッズ ・ワークショップ
10	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	・子どもたちの美術活動の充実と美術館の活動に関わる人材の育成とともに仲間作りを図る。	・講座の日程と合わず活動に参加出来ない、ボランティアがいる。 ・子どもとの関わりについて。	4月～3月	・市広報やホームページを通して、ボランティア登録者の募集。 ・ボランティア会議及び研修会の実施と情報提供。 ・子ども向け講座やその他美術教育普及事業のサポート。	・講座のサポートだけでなく、準備や美術館内部の作業など、講座の日程以外でも活動の幅が広がるよう図る。 ・子どもたちとのような関わり、助言するかボランティアとの話し合いや講師を招き研修会を行う。	随時	—	・アートキッズ ・体験講座 ・企画展 ・文化芸術活動推進事業
11	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	・様々な芸術体験を通して面白さや楽しさを感じるにより、豊かな発想力を養い、感じたこと、想像したことをそれぞれの方法で創造し、表現する力を養うことにより、豊かな感性を育む。	・低学年と高学年の能力の差があり、また欠席により作業遅れの児童のサポートが必要。	6月～1月 (近大編10月予定)	・対 象：小学生 ・募集定員：20名 ・時間など：日曜日 10：00～12：00 14回 ・コレクション展の企画、展示作業、 ・研修、会議、作品選定、キャプション等の制作、関連展示物の制作 ※アートキッズ展(12/14～1/27) 近畿大学産業理工学部との連携事業 ・対 象：小学生 ・募集定員：20名 ・時間など：10月13日(土)・14日(日) 2回 10：00～16：00	・ボランティアを配置を工夫するなど配慮する。 ・別途、作業日を設けるなど、他の児童に作業が追いつけるようにする。 ・児童との接し方について教育センターや小学校等に相談し助言を受ける。	16回	講師謝礼：85千円 謝 礼：56千円 普通旅費：6千円 消耗品費：50千円	・美術館ボランティア事業 ・企画展 ・近畿大学産業理工学部
12	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術講座	・様々な分野の芸術を体験する機会を提供し、創作活動を行う中で芸術への興味を深め、豊かな感性と表現力を磨き、心豊かな人材を育む。	日本画教室 ・月に1回の開催では、時間が空くので制作意欲の持続が難しい。 ・一度休むと作品制作の遅れを取り返すのが大変である。 体験講座 ・4回連続の講座でしたが、社会人の毎回の出席は難しく、全員揃わない。	7月～11月 (月1回)	・対 象：18歳以上 ・募集定員：25名 ・時間など：土曜日 13：00～16：00 ・今年度は美術館学芸員を招き、各館のコレクション紹介と作品鑑賞、楽しみ方などの座学を中心とした美術講座を5回開催。	—	5回	講師謝礼：95千円 消耗品費：20千円	・企画展

○ 入館者数・施設利用の推移

1. 入館者状況

(単位:人)

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
常設展	一般	584	541	311	261	324	314	211	216	223
	高校・大学	16	15	4	3	12	6	3	2	28
	小学・中学	32	17	14	10	10	10	9	6	20
	団体	0	46	0	50	0	56	44	0	0
	12条該当者	8,320	6,100	6,033	6,083	5,209	4,795	7,652	6,490	7,707
	小計	8,952	6,719	6,362	6,407	5,555	5,181	7,919	6,714	7,978
特別企画展	一般	1,415	1,487	1,277	4,817	1,623	1,608	1,365	1,140	724
	高校・大学	29	44	37	169	52	45	29	23	13
	小学・中学	227	133	90	580	140	110	370	78	68
	団体	0	0	0	33	20	0	40	0	0
	12条該当者	1,573	1,588	1,926	4,474	2,783	3,432	3,249	3,222	1,686
	小計	3,244	3,252	3,330	10,073	4,618	5,195	5,053	4,463	2,491
合計	12,196	9,971	9,692	16,480	10,173	10,376	12,972	11,177	10,469	



※常設展は、通常入館時及び入館無料時の入館者であり、特別企画展は、特別企画展入館時の入館者数である。

※12条該当者とは、主に嘉麻市織田廣喜美術館条例第12条に該当し、入館料減免を行った入館者等である。

(入館料減免の対象例) ①年齢満65歳以上の者が、その年齢を確認できる証明書等を提示したとき。

②身体障害者手帳の交付を受けている者が、その手帳を提示したとき。

③療育手帳の交付を受けている者が、その手帳を提示したとき。

④土曜日における小学生・中学生・高校生の入館。

※常設展の12条該当者には、貸館入館者数を含む。

2. 施設使用状況

(単位:時間)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
展示室 5	685.0	490.5	536.5	489.5	456.5	290.5	570.0	520.0	601.0
アトリエ	242.0	237.0	307.0	332.0	291.0	228.5	249.5	233.5	279.0
計	927.0	727.5	843.5	821.5	747.5	519.0	819.5	753.5	880.0

※貸室、研修等で利用された時間数である。織田廣喜美術館の主催・共催事業は含まれていません。

